



平成 26 年度 顕彰式典

平成 26 年 11 月 3 日 (月)
午前 10 時～午前 11 時
学術情報総合センター10 階大会議室

式次第

開 式

学修奨励賞授与 (学部 2 年次生 35 名)

女性研究者奨励賞授与 [岡村賞] (大学院生 1 名、博士研究員 1 名)

女性研究者特別賞授与 [岡村賞] (教員 1 名)

学長のことば

優秀教育賞授与 (教員 2 名)

優秀テキスト賞授与 (4 件)

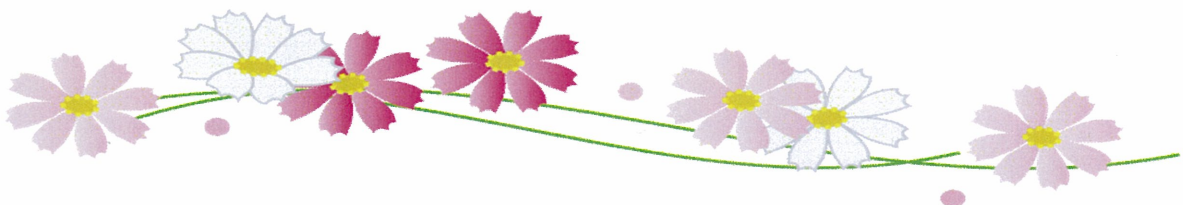
教育後援会顕彰委員長 あいさつ

閉 式

記念撮影

1. 学修奨励賞受賞者・学長・役員・学部長等
2. 女性研究者奨励賞、特別賞受賞者・学長・役員・学部長等
3. 優秀教育賞・優秀テキスト賞受賞者・学長・役員・学部長等

散 会



平成26年度大阪市立大学学修奨励賞受賞者一覧

座席番号	学生所属学部・学科	氏名
1	商学部商学科	大倉 莉世
2	商学部商学科	工藤 朱里
3	商学部商学科	塙平 真千
4	商学部商学科	林 祐里
5	商学部商学科	三日市 鈴果
6	商学部商学科	劉 冰瑶
7	経済学部経済学科	大西 正泰
8	経済学部経済学科	尾野 光
9	経済学部経済学科	窪田 雄希
10	経済学部経済学科	坂中 和希
11	経済学部経済学科	西中 杏奈
12	経済学部経済学科	東側 由美子
13	法学部法学科	今西 陽子
14	法学部法学科	奥田 あずさ
15	法学部法学科	辻元 恵
16	法学部法学科	前田 修平
17	文学部哲学歴史学科	井上 愛子
18	文学部人間行動学科	金山 翔貴
19	文学部言語文化学科	溝口 大将

座席番号	学生所属学部・学科	氏名
20	理学部数学科	高 英秀
21	理学部物理学科	中井 悠二
22	理学部化学科	酒井 明日実
23	理学部生物学科	松井 佑夏
24	理学部地球学科	林 尚輝
25	工学部機械工学科	西野 努
26	工学部電気情報工学科	松本 悠
27	工学部化学バイオ工学科	樋口 哲也
28	工学部建築学科	瀬戸 瑛裕
29	工学部都市学科	廣澤 直人
30	医学部医学科	岸本 和也
31	医学部医学科	留永 嵩文
32	医学部看護学科	福地 文子
33	生活科学部食品栄養科学科	松下 瞳
34	生活科学部居住環境学科	山本 奈月
35	生活科学部人間福祉学科	木ノ元 佑子

平成 26 年度 大阪市立大学 女性研究者奨励賞・特別賞 受賞者一覧

<p>大学院生奨励賞 [岡村賞] (1名)</p>	<p>Tran Thi An (とらん てい あん) 創造都市研究科創造都市専攻 博士(後期)課程2年 ベトナム国立ハノイ教育大学の物理地理コースにて修士号を取得後、ダナン教育大学地理学科に勤務した後、大阪市立大学創造都市研究科に留学した。在学中、国際・国内学会で発表を行い、Geoinforum2014 では最優秀プレゼンテーション賞を受賞した。留学生としての困難を乗り越え、優秀な研究成果を挙げている。また、ダナン教育大学の Women Intelligent Association の会員として教育・研究に関わる女性教職員への支援活動を行っている。博士課程修了後、ダナン教育大学で講師をする予定であり、将来の女性研究者の支援促進と国際的ネットワークの構築が期待される。</p>
<p>博士研究員奨励賞 [岡村賞] (1名)</p>	<p>山下(川野) 絵美(やました かわの えみ) 理学研究科生物地球系専攻 日本学術振興会特別研究員(PD) 卒業研究以来、結婚・出産の中断を経た現在もなお、一貫して脳内器官での光受容の研究に取り組んできた。日本学術振興会の特別研究員(DC2)に続いて、同特別研究員(PD)に採用され、さらに、特別研究員RPD(育児による研究中断を経験した者を対象にした特別研究員)にも採択され、来年度以降も本学にて研究活動を継続する。2013年7月には、日本比較生理生化学会姫路大会において招待講演を行う等、これまで継続的に積み上げた研究成果は高く評価されている。</p>
<p>特別賞[岡村賞] (1名)</p>	<p>藤井律子(ふじい りつこ) 複合先端研究機構・准教授 理学部化学科/理学研究科物質分子系専攻 兼任 学生時代から一貫して、光合成系におけるカロテノイドの構造と機能について光合成生物の成育、蛋白質や色素の調製と、分光学的な計測に基づいたアプローチを20年余行ってきた。本学で研究活動に取り組んで11年目となり、これまでに90編の学術論文、18編の総説を発表している。大学院博士後期課程より日本学振特別研究員(DC2、PD)として研究に取り組み、学位取得後も科研費若手B、若手A(2回)、JSTさきがけ研究の外部資金獲得実績があり、高く評価されている。ワーク・ライフ・バランスの必要性を実感するなか、出産後も7年間、本学において研究教育活動に取り組んできたことは、今後研究者を目指す女子学生、研究員のロールモデルとして高く評価される。</p>

平成26年度教育後援会顕彰(秋季)受賞者一覧

優秀教育賞	1	<p>森 一彦(もり かずひこ) 生活科学研究科・教授</p> <p>森一彦氏は地域と関わりながら取り組む実践教育に力を注ぎ、地域の課題を解決できる人材の育成に取り組んでいる。学生と教員が地域の現場に入って、住民やNPO、自治体と一緒に地域の課題解決や地域づくりを行う授業が特徴である。現在、泉北ニュータウンでの「泉北ほっとけないネットワークプロジェクト」での取り組みにおいては、地域の「空き」を活用する提案や実践を通して、学生が地域の方と関わりながら実践的に設計課題に取り組む授業を行っている。なお、この取組に対し都市住宅学会業績賞を受賞している。もう一つは住吉区での「防災教室『いのちラボ』」の取組であり、地域コミュニティにおいて平常時は防災教育や交流の場として活用され、災害時には防災拠点として活用できるいのちラボを住吉区の小学校に設置し、大学生が小学生や地域住民と関わりながら防災を考える実践的な授業を行っている。そして、このような授業を行いながら、これからの時代を担う人材育成教育は高い評価を受けている。</p>
	2	<p>渡邊 席子(わたなべ よりこ) 大学教育研究センター・准教授</p> <p>渡邊席子氏は大学生のキャリア発達支援プログラム開発にかかる実践教育、学生の学習成果評価の在り方に関する研究、および教育カリキュラム評価に関する研究を進めてきた。また、教育面では特に自ら学び、それを消化し、他者に伝えることのできるクリティカル・シンキングの姿勢とコミュニケーションスキル獲得を促すこと、および自分の生き方を自分で決めて実行する。つまり自律的発達に必要な基礎力の習得を促すことなどに焦点を当て、全学共通教育総合教育科目において「対人行動の影響と意味」、「初年次セミナー」、「ゲームで学ぶ社会行動」、「日常のなかの不思議を探す」の4つの授業を開発し実践しており、多彩で学生にとって魅力的な教材と教育方法を開発した。その結果、多人数クラスの学生に対していかに参加性を高め教育効果を上げるのかという課題について、全学の教員の参考となる授業となっており高い評価を受けている。</p>
優秀テキスト賞 6件応募	1	<p>大阪市立大学理学部生物学科</p>
		<p>テキスト題目 生物学実験への招待 大阪市立大学基礎生物学実験テキスト</p>
		<p>著者名(または共著者名) 大阪市立大学理学部生物学科</p>
		<p>発行年月日 2014(平成26)年3月17日、大阪公立大学出版会</p>
	<p>授業科目名 生物学実験A(全学共通)、生物学実験B(全学共通)、生物学実験S(理学部)</p>	
	2	<p>白杵克之助(うすき よしのすけ) 理学研究科・准教授</p>
		<p>テキスト題目 有機スペクトル解析 MS・IR・NMRデータを読む</p>
		<p>著者名(または共著者名) 白杵克之助、(故)築部浩、西岡孝訓</p>
		<p>発行年月日 2014(平成26)年1月25日、丸善</p>
	<p>授業科目名 機器分析法(専門教育科目)</p>	
	3	<p>栢田幹也(ますだ みきや) 理学研究科・教授</p>
		<p>テキスト題目 格子からみえる数学</p>
<p>著者名(または共著者名) 栢田幹也、福川由貴子</p>		
<p>発行年月日 2013(平成25)年7月20日、日本評論社</p>		
<p>授業科目名 数学入門セミナー</p>		
4	<p>神竹道士(かみたけ みちお) 文学研究科・教授</p>	
	<p>テキスト題目 ドイツ文法ベーシック3</p>	
	<p>著者名(または共著者名) 神竹道士</p>	
	<p>発行年月日 2014(平成26)年1月15日、朝日出版社</p>	
<p>授業科目名 「ドイツ語基礎1・2」(文学部・理学部1回生、前期)、「ドイツ語基礎3・4」(文学部・理学部1回生、後期)</p>		